



新聞まさひこ通信

あけぼの曙

公明党福岡県議団 会報
発行責任者
福岡県議会議員
新聞 昌彦
福岡市早良区曙2-1-35
Vol.94号
令和4年4月2日発行

令和4年度当初予算のポイント

- 令和4年度当初予算と国の経済対策を最大限活用した令和3年度2月補正予算を一体的に編成
- 令和3年度12月補正予算と合わせた、切れ目ない16か月予算により、
 - ・ 新型コロナ危機を克服し、安全で強靱な地域をつくる
 - ・ 世界を視野に、未来を見据えて、新しい一歩を踏み出す
 - ・ 誰もが安心して暮らせる福岡県をつくる

当初予算	2兆1,529億円 <small>(前年度比169億円、0.8%増)</small>	2月定例会案高額 2兆1,803億円
2月補正予算	274億円	
12月補正予算	868億円	
16か月予算	2兆2,672億円	

一給会計歳入歳出規模



新聞昌彦はSDGsを支援しています。

2月議会報告 (2/21~3/24)

3月1日



- 「ロシア軍のウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議案」を全会一致で可決しました。
- ウクライナに福岡県議会として寄付金を贈呈しました。

新聞昌彦が公明党代表質問

- **コロナ対策** ● **経済対策** 党独自のSDGs県民意識調査を使ってSDGs登録制度が地元経済の起爆剤となるよう知事を質しました。
- **安心の高齢社会** ・ 誤嚥性肺炎ゼロプロジェクトの普及 ・ 医療情報ネットワークの推進 ・ AIを活用した予約バスの推進 ・ ニセ電話詐欺対策について知事、警察本部長に問い提案しました。
- 公明党が長年要望し実現した「福岡県パートナーシップ宣誓制度」の推進。18歳成人問題の啓発を知事、教育長に質しました。
- 地球温暖化対策を知事に ● 不登校児童生徒対策を知事、教育長に質しました。



公明党の提案でコロナ感染症の後遺症相談窓口が開設! 「後遺症診療相談窓口」



TEL 092-643-3630 <24時間対応>
FAX 092-643-3697 <聴覚障がい者専用>

SDGs登録制度創設でコロナ禍経済の起爆剤に

今回、公明党独自で、県内5,094人の方々にSDGsの意識調査を行い分析し、SDGs登録制度創設に対して知事に質問しました。

知事は、● 先進県の熊本と連携し、本県の北九州市、福岡市や「SDGs未来都市」とも連携し検討していく ● 商工団体、金融機関等と検討会で意識の醸成、顧客への周知を依頼する ● 登録企業のインセンティブとして県保証協会の「福岡県政推進サポート資金」の対象として検討していく ● 登録企業の目標も検討会で議論していく。



調査の概要は右QRコードでご覧ください。

